

令和7年度事業計画

《事業活動方針》

昨年度は、8月に発生した日向灘を震源とする地震や台風10号の影響による竜巻被害などの自然災害に見舞われ、厳しい状況が続いた1年ではありましたが、球春到来を告げ、『スポーツランドみやざき』が全国に発信されるJリーグ、プロ野球の春季キャンプには、県内外から多くのファンの皆様が本市を訪れ、巨人、ソフトバンク、オリックスのキャンプ地には、3球団合計で約54万人が来場して大変な賑わいを見せるとともに、連日各メディアでも報道されるなど経済効果の大きさを再認識させられた1か月となりました。

本年度は、ここ数年で大きく変化している人々の行動様式・生活様式・労働様式を見極めながら、観光客のニーズが多様化していることを念頭に持続可能な形で「稼ぐ力」を高める取り組みを強気に推進し、宮崎市が「第五次観光振興計画」を策定することから、その計画に沿って、より宮崎市と連携しながら各事業に取り組んでまいります。

中でも、急増するインバウンド誘客を推進するため、直行便が就航している東アジア向けの取り組みはもちろんのこと、欧米豪や東南アジアからの新たな誘客を視野に入れ、それぞれのニーズにあった施策の構築を図るほか、大型クルーズ船で入国するインバウンド旅行者を本市へ誘客、周遊させる施策にもチャレンジしてまいります。

また、旅行や観光地の情報を得るうえで必要不可欠となっているデジタルメディアの活用などを中心とした情報発信についても更なる強化を図り、体験・アクティビティメニューの磨き上げや宮崎の食の発信に努めます。

本市にとって欠かすことのできないスポーツキャンプの受入については、既存施設に加え、国民スポーツ大会に向けて新設された宮崎県プールや全面改修が予定されているひなた宮崎県総合運動公園テニスコートなどの新しい施設も活用し、「スポーツランド宮崎」の更なる推進に取り組んでまいります。

更に、昨年度から取り組んでおります観光庁が推進する観光地域づくり法人（DMO）（Destination Management/Marketing Organization）登録の検討も引き続き行ってまいります。

本年度も、会員の皆様のご協力をいただきながら、県・市をはじめ各観光協会や関係機関と連携を図り、当協会独自の柔軟な発想から生み出す力を本市の観光創造に生かし、観光誘客のために様々な事業に取り組みます。

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

1. 観光客誘致拡大事業

年間を通じ本市への観光誘客を図り、本市の観光入込客数、宿泊者数増加に繋げるため、これからの観光を見据えた観光コンテンツづくりと観光素材を生かした旅行商品のための研究開発・造成支援、情報発信、旅行会社へのセールスが必要である。航空会社や旅行会社とタイアップした誘客企画、効果的なセールスを実施するとともに、ターゲットや時期を絞った継続した旅行商品の造成、魅力的な旅行商品の造成支援を行う。

(1) 国内観光誘客推進事業

旅行会社タイアップ事業

旅行会社や航空会社等への効果的なセールス活動を実施するとともに、各旅行会社と連携を図り、本市への誘客に努める。また、誘客の促進を図るためターゲットや時期を絞った旅行商品造成支援を行い観光入込客数や宿泊者数の増加に努める。

2. 教育旅行支援事業

宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった「オールみやざき」で県内外の誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。旅行会社に対して誘客プロモーションを展開し、宿泊・体験プログラムを通じ宿泊者数の増加を図る。

(1) 教育旅行推進事業

教育旅行に対し、市内に宿泊する場合の宿泊補助と市内に宿泊した場合のみみやざき元気体験プログラムの体験補助を行う。教育旅行を通じ体験型観光の推進と体験プログラムの充実を図り観光業の活性化に繋げる。

宿泊補助は、1人あたり一律1,000円、体験補助は、1人あたり上限2,000円。

3. 観光情報発信事業

本市の「豊かな食」、「恵まれた自然」を活かし、観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の情報を旅行雑誌や新聞掲載、ビジョン広告等の各種媒体や各種メディアを活用した情報発信を行い、イベントを絡めた新たなアプローチや効果的な観光プロモーションによる幅広い年齢層へのPRを通して、宮崎への旅の気運を高め誘客に努める。

観光客のニーズにあわせた効果的・効率的な手法として、WEBやSNS等のデジタルメディアを活用した情報発信の強化、戦略的な観光誘客で観光客のニーズを的確に捉えた効果的な事業展開、さらには、継続的なインバウンド対策としてセールスプロモーションの強化や広域連携によるスケールメリットを生かしたプロモーションをはじめ受入環境の整備等の強化を図り、本市の認知拡大と誘客効果の向上及び観光消費額の増加に繋げる。

(1) 観光プロモーション推進事業

①メディア連携情報発信事業

誘客に繋がる効果的なプロモーションに努め、本市のイメージUPや認知度向上を図る。主要メディア等の連携やタイアップ企画の実施、WEB媒体・SNS等のデジタルメディアを活用した効果的な情報発信をはじめ、旅行会社や観光企画媒体に特化した広告掲載等を行う。

関東、中部・関西、九州各エリアでターゲットを絞った効果的なプロモーションや情報発信を行い本市への誘客に努める。

②イベント関連プロモーション事業

本市の魅力ある観光資源や各種イベント情報など、話題性のある旬の素材を幅広く国内外に発信するため、各地域間を繋ぐ交通機関や大型イベントと連携し本市への誘客を促進するためのキャンペーンを行う。令和7年度は「大阪・関西万博」が開催されることから県や市内市町村等と連携し効果的なプロモーションやターゲットを絞った戦略でWEBやSNS等各種メディアを活用した情報発信を行う。また、屋外大型コンサート誘致に向けた機運醸成プロモーション

の実施を継続して行う。

(2) GBPを活用した情報発信事業

デジタル化の進展により、データに基づくマーケティングが重要な役割を担っているため、昨年度に引き続き、飲食店をはじめとした観光事業者のGoogleインサイトデータ（Google Business Profile）の整備を行う。個々の飲食店舗の集客やお客様との関係構築に役立ていただくとともに、当協会ホームページにて店舗を紹介することで、広範囲に情報を発信することに加え、世界シェア85%といわれるGoogleの検索結果順位の向上を図り、各事業者の誘客に貢献する。

本事業をとおして、地域を一体的にまとめることで、旅行者の行動や嗜好性にかかるデータの取得を行うとともに、蓄積した顧客データの分析結果を活用し、周遊性の向上・滞在力アップと観光消費額の向上を狙う。

参画店舗目標数：120店舗

(3) 観光魅力情報発信事業

①ホームページ・SNS情報発信事業

協会ホームページやSNS（Facebook、Instagram、X（旧Twitter））を活用し、観光客のニーズを的確に捉えた効果的かつ有効的な情報発信に努める。WEBを活用したインバウンド向けの情報発信、ホームページ内の特集記事等の充実、プレゼントキャンペーンを活用したSNSでの情報発信等をはじめエンゲージメント時間の上昇に繋げる深掘り記事の作成等本市の魅力を国内外に効果的・効率的に発信し、観光入込客数の増加に努める。また、インバウンド向けの外国版パンフレットのデータの作成を行いWEB上の観光パンフレットの充実に努める。

(4) 宮崎で遊ぼうクーポン事業

本事業は、利用者や参画施設の利便性向上、ペーパーレス・人的作業の簡略化を進め、より持続可能な事業を目指し令和5年度より、完全デジタル化へと移行。県内の各観光協会の協力もあり、現在では22施設・約60種類のアクティビティを一つにまとめた観光コンテンツとなっている。本クーポンの利用者数増加を目指し、観光客の周遊性・滞在性を向上させ、宿泊客数増加に向けた取り組みを行う。また、アクティビティの充実を図り、宮崎の観光資源のPRに努めるとともに、蓄積されたデータを分析しマーケティングの視点からも販売方法やコンテンツ作りに活かしていきたい。

(5) インバウンド関連事業

①インバウンド誘客強化事業

国内インバウンドを取り巻く状況は、コロナ前と比べて観光客数、消費額ともコロナ前を上回る状況となっている。一方、本市においては、国際線の拡大など誘客の後押しとなる環境が整いつつあるものの、来訪者数、消費額ともコロナ前までの回復には至っておらず、更なるインバウンド誘客強化が求められている。

今後の誘客増加に向けて、東アジアの重点地域を中心とした誘客を強化するとともに、インバウンド旅行者の受入環境整備や受入機運の醸成につなげる取り組みに努める。

②インバウンド誘客強化事業（欧米豪等新規市場プロモーション）＜新規＞

欧米豪等をターゲットエリアとし、宮崎が誇る「食」や「自然」などの一般観光コンテンツを効果的にプロモーションし観光客誘致に努める。個人旅行や団体旅行に加え、富裕層を対象に様々な手法を掛け合わせ、現地エージェントや業界関係者、メディア等との構築をはかりながら市場の動向や最新のトレンド、求められるコンテンツやサービスなどを情報収集し、誘客に向けた取組を行う。

4. 観光資源活性化事業

県内の観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や新たな観光素材の開発、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

滞在型観光を推進し、宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた特色・魅力ある体験プログラムを提案、受入することで、観光客の誘致に努め、観光による地域振興に寄与する。

(1) 体験プログラム受入事業

滞在型観光を推進するとともに、宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、マリンスポーツなどの宮崎ならではの豊かな自然、宮崎の伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し、修学旅行生や一般観光客の受入を行う。また、本市への観光客のニーズを捉えた商品造成を体験事業者と行う。

5. 広報宣伝活動事業

宮崎への誘客を図るため、本市の「自然」や「イベント」「食」「文化」などを幅広くPRし「観光宮崎」の魅力発信に努める。さらには、宮崎の魅力ある景観を素材にした観光名刺の販売、各種イベントを記載した機関紙等の配布など、様々なツールを活用し宮崎の観光情報を全国に発信し誘客活動を行う。

(1) 観光名刺印刷・販売

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎市内の主な観光地（5種類）がセットになった名刺台紙と宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行う。

(2) 機関紙「Mコミュニケーション」の発行

会員との連携を図るツールとして機関紙を発行。

6. 国内外観光交流事業

当協会は、平成16年（2004年）に中国山東省青島市文化和旅游局、昭和62年（1987年）に（一社）旭川観光コンベンション協会、平成29年（2017年）に（一社）檜原市観光協会と友好盟約を締結していることから交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めるとともに地域経済の発展に寄与していく。

(1) 海外他友好都市交流事業

(2) 観光団交流事業

（一社）旭川観光コンベンション協会とは、隔年で訪問交流を行っている。令和7年度は、本市が旭川市へ訪問予定。

公2. 観光客受入体制関連事業

1. 観光客受入事業

国内観光客やインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供し、周辺の観光地や施設との連携を図りながら利便性や周遊性の向上に努める。また、観光客のニーズを捉え受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上やスキルアップのための研修会を開催する他、来宮した観光客や急激に増加傾向にあるインバウンド観光客に対して、時代に即した各種サービスの充実を図る。また、宮崎港への海外クルーズ船を誘致する動きもあることから、クルーズ船インバウンド客の受入体制の整備を図り観光消費額向上を目指す。また、令和7年度「観光庁 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業」に採択されたことから、昨年度に引き続き、青島のナイトコンテンツをさらに磨き上げ、新たな魅力的な商品を造成することで、夕方から夜における滞在型観光の促進、宿泊者数の増加を図る。

(1) 海外クルーズ船受入体制整備事業<新規>

県内での海外クルーズ船の受入を日南市油津港や日向市細島港で行っているが、海外クルーズ船利用によるインバウンド観光客はシャトルバス等を利用して宮崎市に観光・買い物に来ている。

今後、宮崎港への海外クルーズ船を誘致する動きもあることから、船舶会社のニーズ調査や受入可能店舗調査、受入可能店舗等を掲載したマップの作成など、受入を行うための体制整備を行い、クルーズ船乗客の観光消費額向上を目指す。

(2) 青島五感プレミアム体験事業<新規>

本事業は観光庁 地方再生プレミアムインバウンドツアー集中展開採択事業

2024年宮崎県のインバウンド延べ宿泊者数はコロナ前と比較し、83%に留まっておりコロナ以前の数字には回復していないため、現存する自然、歴史、文化、食といった観光資源を徹底的に磨き上げ、宮崎の魅力を最大限に引き出すことで、宮崎に「行ってみたい」「何でも訪れたい」と思わせる“目的地”へと進化させていく必要がある。令和6年度に実施した「観光庁 特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・資質向上推進事業」のアンケート結果をもとに、青島のナイトコンテンツの更なる磨き上げを図り、魅力を増した新たな

商品を造成し、滞在時間の延長及び宿泊者数の増加に繋げていくため、宮崎市が新規事業として実施する「青島ビーチリゾート推進事業」と連携し、「青島五感プレミアム体験」として、訪日観光客のみならず国内観光客を対象に4つのコンテンツを実施する。

期 間：令和7年9月～令和8年1月（予定）

内 容：A Iガイドによる対話型青島歴史文化体験／青島神社宮司等との伴奏型青島歴史体験／神楽レクチャー・奉納体験／歴史文化鑑賞と宮崎メシ体験

(3) 渚の交番整備・運営事業

青島海水浴場管理棟を平成21年（2009年）に改修し、平成22年（2010年）6月から渚の交番として開設し15年が経過した。青島ビーチヴィレッジや周辺観光施設と協創を図り、青島エリアの滞在型観光を促進し、マリンスポーツやアクティビティの拠点として、受入環境を整えるとともに、賑わい創出に努める。

青島エリアにおける地域観光のハブとして、さらなる受入体制の充実を図りながら、稼げる渚の交番を強力に推進する。

(4) 宮崎WORK&STAY推進事業

国内外からのMICE誘致が加速する中で、宮崎オリジナルのアフターコンベンションユニークメニューとして令和5年12月から展開している“ニシタチ人情横丁貸し切りプラン”の宣伝販売の促進を引き続き行うとともに、宮崎県観光協会と連携してコンベンション誘致に取り組む。

(5) 観光インフォメーション管理運営事業

宮崎市観光案内所

時代とともに変化している観光サービスに柔軟に対応しさらなる機能充実を図るため、観光客のニーズを的確に捉えた各種サービスの拡充に努める。地域イベントのチケット販売、モバイルバッテリーのレンタル、レンタサイクルなど、観光地の情報発信だけでなく、広域情報拠点として周遊性の向上を促進する。

また、職員のスキル向上のため各種研修会に参加し、きめ細やかな対応でインバウンドにも貢献できるよう、顧客満足度の向上と各種サービスの拡充に努める。

(6) 観光従事者研修会

(7) レンタサイクル事業

(8) コインロッカー運営事業

(9) 神話・観光ガイド支援事業

おもてなしボランティア事業 青島観光インフォメーション事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットに、南国ムードを生かした、魅力ある宮崎の観光資源を活用したイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起こしと開発を行う。プロモーション事業とも連携を図り、具体的な誘客に繋がる仕組みを構築し事業の展開を図る。また、新たな観光資源の開発や各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成を行い地域活性化に努める。

宮崎への旅の動機付けを喚起させ観光誘客を図るため、宮崎の魅力ある食のプロモーションを継続的に行い、観光誘客の起爆剤となるような食のPR活動を手助けしていく。

(1) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

口蹄疫の翌年平成23年（2011年）から始まった本イベントは、宮崎の夏の風物詩として定着している。県内外の観光客のみならず県民市民からも愛されるイベントとして、17日間のロングランで開催する。

本イベントを夏の滞在力を高める誘客素材として活用するとともに、期間中は中心市街地や周辺施設と連携した誘客促進にも努め、県内外からの誘客を図る。

期 間：令和7年8月1日～17日

場 所：フローランテ宮崎

(2) フラおもてなし推進事業

宮崎ブーゲンビリア空港や各種MICE会場にて観光客やMICE参加者等に対してフラを披露し、「フラのメッカ宮崎」としての認知度を向上させる。

(3) 新規事業開発事業

本市の観光推進に繋がる新たな観光素材の掘り起こしや、観光客の多様化するニーズに柔軟に対応した事業化を図る。

(4) みやざき青島国際ビールまつり

(5) 行事負担金

(6) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグなどの宮崎キャンプ期間中の円滑なキャンプ受入環境を整備し、宮崎キャンプの継続実施を図る。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞緩和等のため交通体制の整備や観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、市内各所で、歓迎ムードを高め、賑わい創出に努める。プロスポーツの受入態勢を充実させ、キャンプ地宮崎を全国に発信し、さらなる「スポーツランドみやざき」の推進と、本市のイメージアップを図る。

(1) キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

本市では、温暖な気候と充実したスポーツ施設を生かし、プロ野球3球団の春季キャンプ等の受入を行っている。1つの市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけである。

宮崎キャンプの話題性と3球団のキャンプ地の周遊性の向上を図り、十分な警備体制をはじめ臨時駐車場の確保や誘導看板の設置等、キャンプ観戦の円滑な環境づくりに努めながら来場者の利便性向上と誘客効果を高める。

(2) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

スポーツ等合宿受入支援事業

本市のスポーツに適した気候や充実した施設環境を全国に発信し、本市で合宿を行うプロ・アマスポーツ団体に継続的に合宿を実施してもらうため、宮崎の特産品贈呈や宿泊補助、貸切バスの経費補助を行う。さらにはスポーツ等合宿誘致セールスをはじめ新たな団体の誘致を強化し、宿泊者数の増加に繋げるとともに地域経済の活性化とスポーツランドみやざきのさらなる推進に努める。

(3) みやざきゴルフパラダイス事業

11月に開催される「ダンロップフェニックストーナメント」「JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」の2大トーナメント、3月に開催される「アクサレディスゴルフトーナメント」など各トーナメントと連携しながら「宮崎＝ゴルフ」のイメージアップを図る。

本市のゴルフ環境の良さを、SNS等を活用して国内外にアピールするとともに、新たなゴルフ客向けに宮崎ブランドを構築しゴルフ客の増加に繋がる施策を展開する。トーナメント会場や各ゴルフ場のPRとイベントの開催、ゴルフパックなどの旅行商品の造成、オフシーズンに本市で合宿を行うプロゴルファーへの合宿支援など、年間を通してゴルファーの誘客に努め、スポーツランドみやざきの推進と閑散期の誘客を図る。

(4) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

プロスポーツイベントが開催されている期間に、観光客やイベント関係者に対し、市内の主要な道路付近等に歓迎看板やバナー、フラッグ等を設置し、イベント期間中の機運醸成及び歓迎ムードの盛り上げを図る。

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地みやざきのPRを行い宮崎への誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇る充実したスポーツ施設や全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれた環境、支援・受入体制を発信し本市への誘致に努める。

- (1) キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業（Jリーグ）
令和7年度は、アビスパ福岡本拠地にて実施予定
- (2) みやざきスペシャルゲーム開催事業
プロ野球各球団の本拠地で開催される公式戦において観光パンフレットのサンプリングや特産品の抽選プレゼント等を実施し「キャンプ地みやざき」のPRを行う。
 - ①京セラドーム大阪
本市のスポンサーゲームと宮崎市内の企業団体がキャンプ地みやざきシリーズとして合同で2試合を開催予定。2日間でオリックス球団への表敬訪問や観光プロモーション、メディアとタイアップしたプロモーションを実施。
カード：オリックス・バファローズ VS 北海道日本ハムファイターズ
期 日：令和7年4月19日 ※14時試合開始
※4月18日はキャンプ地宮崎応援隊で実施。
 - ②東京ドーム
6月28日・29日の2試合を「宮崎・都城キャンプ地WEEKEND」として球団と2自治体が連携したイベントを開催。
カード：読売ジャイアンツ VS 横浜DeNAベイスターズ
期 日：令和7年6月28日 ※14時試合開始
 - ③みずほPayPayドーム福岡
7月5日・6日の2試合をホークス球団が中心となり、「みやざきスペシャルDAYS」として開催。
本市のスポンサーゲームは1試合。球団への表敬訪問や観光PRを実施。
カード：福岡ソフトバンクホークス VS 埼玉西武ライオンズ
期 日：令和7年7月5日 ※18時試合開始
- (3) スポーツランド情報発信事業
京セラドーム大阪やみずほPayPayドーム福岡の野球観戦者に「キャンプ地みやざき」をPRするため、宮崎への誘客促進として、看板やビジョンへの観光情報の掲出・放映を行う。
- (4) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

野球やゴルフのスポーツ大会を通じて少年少女たちのスポーツ交歓や交流を図ること、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

- (1) みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント（少年少女野球大会）
第21回みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント
プロ野球の受入を中心として構築されてきた“スポーツランドみやざき”だからこそできる大会を目指し、野球を通じて他県の少年少女と交流を深め、憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーが大きな目標となり、未来を担う子ども達の健全な育成に寄与することを目的とする
期 間：令和7年7月26日～28日
場 所：生目の杜運動公園、清武総合運動公園、ひなた宮崎県総合運動公園
- (2) ゴルフパラダイス観光推進事業

収益目的事業

収1. 宮崎ブランド商品魅力発信事業

宮崎の魅力を全国に発信することで、本市の観光プロモーションに繋げ、誘客だけでなく「稼ぐ力」をつける取り組みを推進する。本市の魅力を商品化に繋げる観光事業の展開や新たな観光資源の発掘を目的に様々な事業に取り組む。会員と連携した商品開発展開を強化し、会員一体となった事業推進を図る。また、令和7年度「観光庁 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事

業」に採択されたことから、昨年度に引き続き青島のナイトコンテンツをさらに磨き上げ、滞在型観光の促進および宿泊者数の増加を図るため青島五感プレミアム体験として4つのコンテンツの販売促進を図る。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催
総務企画委員会、理事会、監事会、定時総会等
2. 県内観光協会との連携
3. 観光功労者の表彰
4. 会員管理・交流
5. 職員研修（観光視察研修・ハラスメント研修他）
6. 職員の働きやすい環境づくりの構築

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会
既存キャンプ1軍球団のキャンプ継続及び期間の長期化、キャンプ期間の実戦形式の練習環境の充実を図るとともに、経済効果を高め、他県でキャンプを実施するチームへも宮崎での練習試合の開催を呼び掛け参加の依頼を行うため、自治体及び関係団体で「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」を構成し開催する。
2. 読売巨人軍宮崎協力会
3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会
4. オリックス・バファローズ宮崎協力会
5. Jリーグ等宮崎協力会
6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会
7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会（当協会と宮崎ライフセービングクラブとのJV）
青島ビーチセンター指定管理業務（第4期）
指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）
 - （1）青島海水浴場管理運営業務
 - （2）青島ビーチ魅力アップ事業
青島ビーチパークの通年営業
「海を身近に感じる暮らし」「多様なビーチスタイルのハブとなるコミュニティ創出」を目指して、シーズンに応じた魅力的な商品提供や様々なイベント等を実施し、年間20万人の集客を目指す。
参 考：令和5年度140,350名、令和6年度163,770名